

＜第114回キャンパス・サミット資料＞

平成30年12月25日

福工大「ビオトープ」及び新宮町「人丸公園ビオトープ」活動報告

社会環境学部 坂井宏光

1. ビオトープ活動～ 平成30年度の冬のビオトープ活動は、**12月8日(土) 9:30～12:00**に**第51回自然観察会**を開催しました。テーマは「冬の里山・ビオトープの自然観察と伝統の籠編み体験」活動で一般は26名、学生27名が参加しました。すっかり冬の装いに変化した里山・ビオトープを五感で観察した後、クズ（葛）の蔦を採取しました。そして、伝統文化のクズの籠編み体験を楽しみました。参加者は個性的な籠やクリスマスリースなどを製作しながら、楽しく交流しました（下の写真）。

今年度は4回の自然観察会に178名の参加者があり、里山・ビオトープ活動を無事、終了しました。平成18年から今年度51回までの**延べ参加人数は、13年間で1,710名になりました**。親子の参加者は、特に自然環境の中で五感を駆使して遊びながら感性を高め、環境学習で親子の絆を深めていました。今後も、地域の環境活動拠点として、継続的に環境学習・環境教育を進めます。



冬の自然観察風景（12月9日撮影）

籠編み体験

籠などの完成品の鑑賞

2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動～ 11月7日(水)に環境基礎演習として、学生10名と新宮町職員1名が人丸公園ビオトープの自然観察を行いました（下の写真）。造成して約3年半後のビオトープは、徐々に生態系が変化しているのが分かりました。晩秋の生態系の様子などが観察できました。

今後の活動として、次年度も定期的に自然観察を継続的に行う予定です。



人丸公園ビオトープの全景（10月25日撮影）、生きもの調査&自然観察風景